

嫉妬心の影と光

Envy vs. Jealousy

永田円了

嫉妬心とは、今の自分より相対的に上にいる人間をうらやむ感情のことである。また嫉妬は、人間の関わりの中から生まれる情の絡み合いでもある。よって、この絡み合いのエネルギーが負に働けば、人の足を引っ張り、自死、殺人にまでに至る。逆にこのエネルギーがプラスに働くなら、人を高みに引き上げる大いなる力となろう。しかしほとんどの場合、嫉妬心の影の強力な支配に屈しているのが現状である。



嫉妬心の影 envy

鏡よ鏡、この世で一番美しいのはだれ？ いつも答は「貴女です」と言われて微笑んでいた継母が、ある日鏡が白雪姫の方が美しい、と言ったとたん嫉妬の炎が燃えさかり、毒リンゴで白雪姫を殺そうとする。

熱愛する妻デズデモーナに、旗手イアーゴの作り話で嫉妬し、苦しむオセロ。イアーゴもまたオセロの幸せに嫉妬した末の行動。結末は凄惨たる殺戮の地獄となる。

嫉妬の末に父親を殺し、実の母親と交わるオイデプス王の悲劇。紀元前 427 年ごろの戯曲。ギリシャ悲劇の最高傑作と言われ、2000 年にわたって上演され続けている。

日常些細なことだから許している罪、七つの大罪：暴食、高慢、怠惰、色欲、強欲、憤怒、そして嫉妬。1995 年米映画『セブン』では、嫉妬が罪として扱われている。

自由を説くアメリカが、自分たちより自由な人間を見ると嫉妬する。1969 年米映画『イージー・ライダー』Easy Rider では、人間のもつ嫉妬心の本質を浮き彫りにしている。

嫉妬心の光 jealousy

嫉妬心がバネになり、三菱グループの創始者にまでになった岩崎弥太郎。坂本龍馬に凄まじい嫉妬心を持っていた。「おまんと一緒にいたら、自分はなんちゅうら、できん、こまい、つまらん人間に見えたがぞよ」「まぶしすぎる光は、腹が立つ」と龍馬にぶちまける弥太郎。しかし彼は、龍馬の足を引っ張ることはしなかった。代わりにライバル心を燃やし出世街道を走った。

美空ひばりに嫉妬した作詞家・阿久悠。中学校のときの遠泳大会で、もしここで溺れて死んだら、新聞は「少年水死」の四文字で終わるだろう。しかし、もし美空ひばりだったら、少女水死の四文字ではすまないだろう。同年齢の美空ひばりにそこまで嫉妬していたことを明かした阿久悠。この嫉妬心が全ての始まりだったと述べる。

大病院の外科部長の地位を捨て、手術室で患者と向き合いたいと、一人の医者にもどった須磨久善(46)、日本で初めてのバチスタ手術に臨む。一回目の失敗で世間、学閥からの非難多々。嫉妬渦巻く中、須磨はスタッフ全員を集めて言った。「私は医師として全てをかけます。力を貸してください」。

嫉妬をものともせず、淡々と自らの使命はたす須磨久善に、“第三のみち”の香りを感じる。

(NHK プロジェクトX「奇跡の心臓手術に挑む～天才外科医の秘めた決意～」 2001/1/6)



外科医 須磨久善

<事例 DVD>

白雪姫、継母が嫉妬、毒リンゴで白雪姫を殺そうとする
シェクスピア作「オセロ」嫉妬がおこす人間最大の悲劇 オーソン・ウェルズ主演
オイデプス王 親殺し、近親相姦、おぞましギリシャ悲劇 蜷川幸雄演出
映画「セブン」 七つの大罪 『ねたみ』
映画「イージー・ライダー」自由を説くアメリカが、自由な奴に嫉妬する
徳川家康の豊臣秀頼に対する嫉妬が豊臣を亡ぼす
岩崎弥太郎の龍馬に対する嫉妬/まぶしすぎる光は、腹が立つ
作詞家・阿久悠、美空ひばりに嫉妬、それが全ての始まりだった
スティーブ・ジョブズ 嫉妬のパワーが世界を変えた
嫉妬心を和らげるスピーチ/63 回ゴールデングローブ賞授賞式より
プロジェクトX「バチスタ手術」須磨久善(46) 嫉妬をものともしない第三のみち
歌・中島みゆき「誕生」 畏れながら、憎みながら、愛を知っていく

円了のホームページ: www.enryo.jp